

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

【第60回】

鹿児島県南九州市立田代小学校「かじかクラブ」

鹿児島県南九州市立田代小学校長 本多 雅人

学校完全週5日制支援活動にあわせて組織された「かじかクラブ」は、当初野外活動を中心とした「かじかクラブ」と室内学習を中心とした「かじかスクール」から始まりました。学校、子ども会、PTA、各種団体の協力を得て、様々なプログラムが行われました。

平成18年から名称を「かじかクラブ」に変更し、その後、放課後子ども教室に取り組み、現在に至っています。

運営方法については、校区青少年健全育成連絡協議会を中心として全保護者が推進委員として活動を支えています。

田代校区では、学校は「地域の学校」、「地域の子どもは地域で育てる」という合い言葉が地域に定着しており、学校教育においても、地域の人材や教育力を活用した様々な授業が行われています。

「かじかクラブ」では、推進委員とコーディネーターによる企画・連絡調整で活動計画しています。内容は、スクールガードの方々による放課後学習の見守り、親子読書会による読み聞かせ会、体育指導員によるニュースポーツ、警察による交通安全教室、市文化財課による校区文化財探検など、地域や各種団体と連携した活動を行っています。

このように、「かじかクラブ」は地域の教育力を活用して進めてきています。今後も「地域の力」を様々な教育活動にいかしていけるように努めて参りたいと思います。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第198号に掲載）